

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	健康づくり推進事業		コード	3107
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課
	作成者	百瀬ひろみ		
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち	
		政策	保健・医療の推進	施策 健康づくりの推進
		予算科目	健康づくり推進事業費	業務委託 なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助 あり
	根拠法令	健康増進法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	生活習慣病予防をはじめ、健康に関する正しい知識や情報を提供するため、健康づくり講演会や運動講習会、イベントや各種教室、健康相談等を実施し、健康の保持増進のための啓発を行った。		
目的	対象者	市民	
	意図	健康の保持・増進	健康寿命の延伸

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1. 健康寿命延ばそおやかや事業</p> <p>1) 健康診断の受診率向上のための取組み</p> <p>①母子保健事業での保護者に対する啓発実施（1歳6か月児健診・2歳にこにこ教室での受診勧奨）</p> <p>②地区組織活動（保健委員会・食生活改善推進員会）、健康づくり講演会等での周知・啓発の実施。</p> <p>2) 講演会・講座の開催</p> <p>①血管を守る健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月15日（土）「誰でもできる 効果的なウォーキング&簡単筋トレ法」（松本大学大学院教授 根本 賢一氏）：参加者 141人 ・7月20日（土）「肥満を撃退！食事の力で糖尿病予防～スマートに健康になろう！～」（佐久市国保浅間総合病院 内科部長 西森 栄太氏）：参加者 130人 ・8月24日（土）「今日からおいしく健康に かるしおレシピで適塩生活」（国立循環器病研究センター 臨床栄養部 栄養管理室長 平野 和保氏）：参加者 130人 ・9月21日（土）「消化器がんを知る～予防、診断から治療まで～」（岡谷市民病院 市民病院長補佐兼研修センター長兼消化器外科部長 三輪 史郎氏）：参加者 200人 <p>②血管を守る学習会（地区保健委員会で開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血管を若返らせる運動塾： 地区で実施 26回 延 514人参加 ・血管を若返らせる食生活： 地区で実施 14回 延 205人参加 ・口は健康の入り口～歯周病から身体を守りましょう～： 地区で実施 6回 延 98人参加 <p>3) ハイリスク者への個別対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定健康診査後の結果説明会等の実施：実施者 193人 ②特定健康診査後の重症化予防のための保健指導の実施：実施者 188人 <p>2. 健康相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接相談 82件 ・ダイヤル健康相談 220件 <p>3. 岡谷市自殺対策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策推進本部会議 1回 15人参加 ・岡谷市健康づくり推進協議会（兼岡谷市自殺対策連絡協議会）2回 24人参加 ・庁内研修会 2回 250人参加 ・民生児童委員協議会研修会 1回 142名参加 ・労務対策協議会周知啓発 1回 14社参加 ・こころの体温計（携帯電話やパソコンの端末を使ったメンタルヘルスセルフチェックシステムの導入）4月25日開始 アクセス総数（H31.4.25～R2.3.31） 20,115回 			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、地区活動を通じ健康的な生活習慣実践のための周知啓発を行った。 ・個別の保健指導を継続実施する中で、日曜日健診時に、受診者全数を対象とした面接を行い、生活習慣改善のための個別対応の強化を図った。 		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
① 活動指標（指標名）	区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）
	開催回数				単位 回数
実績値		627	570	740	
*指標の説明	各事業の開催回数の合計				
② 成果指標（指標名）	参加者数				単位 人
	目標値	3,639	2,870	3,480	
	実績値	1,833	1,735	2,546	
	達成度	50.4%	60.5%	73.2%	
*指標の説明	各事業の参加者数の合計				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の参加者数の平均				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	981,177	1,023,806	1,711,297	3,324,000
経常経費	313,615	404,056	929,498	206,000
臨時的経費	667,562	619,750	781,799	3,118,000
* 臨時的経費の説明	健康づくりのつどい事業費、自殺対策計画策定関係			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	12,480,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
正規職員の人数(人)	1.56	1.50	1.50	1.50
③ 合計コスト(①+②)	13,461,177	13,023,806	13,711,297	15,324,000
前年度比		96.8%	105.3%	111.8%
財源				
一般財源	12,343,177	11,774,806	13,274,297	14,628,000
内訳				
特定財源	1,118,000	1,249,000	437,000	696,000
* 特定財源の説明	健康増進事業費県補助金、地域自殺対策強化事業費県補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	20,404	21,762	17,472	
前年度比		106.7%	80.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 0	0	0	0
	割合 0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	146.7%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	0
成果指標の目標値 達成度	73.2%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診受診等健康的な生活習慣の実践につなげるための意識啓発が必要。 ・ 31年3月に策定した「岡谷市自殺対策計画」に基づき、地域の自殺対策の推進を図る。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会、地区活動等を通じ、健康の保持増進のための啓発を継続実施。(効果的な取り組みとなるよう、魅力あるテーマや内容の検討、関係団体等との連携) ・ 自殺対策計画に基づき、各種事業の実施(関係機関・団体との連携の強化、市民への周知啓発等) 	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---